

函館ロケ地マップ 函館珈琲

映画『函館珈琲』の撮影について

映画『函館珈琲』は、平成27年8月末～9月にかけて、函館市内各所で撮影されました。このロケ地マップでご紹介した以外にも、高島屋珈琲、浪月堂、函館朝市、朝市の味処茶夢、ブックマーケット美原店、中古レコードショップPLUS 1 A.D.などの店舗で撮影させていただいたほか、金森赤レンガ倉庫前や市電、函館空港、大森海岸などで撮影が行われました。

① 港の庵

劇中で『翡翠館』とよばれている、古い西洋風の建物として選ばれたのは、西部地区にある「港の庵」と呼ばれている建物です。この建物にセットをつくり、住人の部屋を作り出し、住人たちの様々な人生が描かれました。明治35年に建てられ、2014年にリノベーションされたこの建物は普段中に入ることはできませんが、西部地区で行われる「バル街」などのイベントの際には中に入る機会もあります。函館の古い建築を代表する建物です。



②

② 見晴のいいポイント

自転車をこいで山を登った松山と相澤は、港町函館を一望できる場所にたどり着きます。このシーンが撮影されたのは、弥生坂を登り、途中の小路を入ったところにあります。この眺めのいい場所は地元の人たちもあまり知らないスポットです。



函館山ロープウェイ

函館駅

④

③ 新島橋と周辺の遊歩道

新島橋とその周辺では、自転車に乗っているシーンや松山が苦悩しているシーンなど、いろいろなシーンが撮影されました。同志社の設立者で有名な新島襄の名前を冠したこの橋からは、函館の有名観光地金森赤レンガ倉庫を臨むことができます。写真右奥に見えるのが新島橋です。



④ 摩周丸前の広場

松山、一子、相澤が夜中にビールを飲みながら走り回るシーンが撮影されました。この広場は毎年行われる夏の花火大会の時は沢山の人でごったがえします。



⑤ 星龍軒

佐和行きつけのラーメン屋という設定で撮影がされました。無口な佐和はここで松山と偶然出会い、心を通わせるきっかけとなります。星龍軒は、普段から、観光客のみならず、地元のサラリーマンなどが行列をつくる、函館塩ラーメンの超有名店です。



⑥ 祐鮓

時子と一子が、並んで寿司を食べるシーンが撮影されました。創業82年余り、新鮮なネタとご主人の人柄、そしてリーズナブルなお値段で、地元客にも観光客にも愛される、函館らしい寿司をゆったり味わえる老舗のお寿司屋さんです。

